

新潟職業能力開発短期大学校

能力開発セミナー コースガイド 2024

後期用

◎ 新潟職業能力開発短期大学校とは

新潟職業能力開発短期大学校は厚生労働省所管の工科大として、平成4年に開校いたしました。学生を対象とした高度な知識と技術・技能を兼ね備えた実践技術者（テクニシャン・エンジニア）の育成を目的とした専門課程と並行し、地域企業に在職されている方々の職業能力開発のため、ものづくり分野を中心としたキャリアアップや技術革新に対応できる技能・技術の向上を総合的に行う公的な研修施設の役割も担っています。

専門課程

技術革新に対応できる高度な知識と技能・技術を兼ね備えた実践技術者（テクニシャン・エンジニア）の育成を目的に設立された「新潟職業能力開発短期大学校」の専門課程（2年制）には、生産技術科（定員20名）、電気エネルギー制御科（定員20名）、電子情報技術科（定員20名）及び住居環境科（定員20名）の4科が設置されています。

当校修了予定者への求人をご検討いただける場合は、「新潟職能短大 求人票」と検索ください。

（当校求人票フォーマット等がダウンロードできます）

能力開発セミナー

イノベーションが求められる産業界では、技術者に求められる専門性も常に高度化しております。能力開発セミナーは、ものづくり現場で活躍する中堅技術・技能者の育成を目的とした在職者向け職業訓練です。

レディメイドセミナー

地域企業の人材育成ニーズに基づき計画したセミナーです。本パンフレット「能力開発セミナーコースガイド」に掲載した各種セミナーコースがあります。

（注意）・日程は変更することもあります。・定員に満たない場合は、中止することもあります。

オーダーメイドセミナー

「能力開発セミナーコースガイド」に掲載したレディメイドセミナーコースでは、日程や時間帯が合わない。また、自社のOff-JTとして研修を実施したい等のご要望を相談のうえ、セミナー計画を作成し実施するコースです。（P27）

生産性向上支援訓練

生産性向上に関する課題やニーズに対応した訓練です。（P32）

受託・共同研究

ものづくり企業の事業主や各種団体等の要請により受託・共同研究を行います。当校のノウハウや技術・設備などを活用することで、最小限の経費で目標とする研究成果を目指すことができます。また、研究成果は当校の学生の教育訓練にも活用し、未来の技術者育成につなげます。

受託研究：当校の教員が研究を受託し、その結果をご報告します。

共同研究：企業のスタッフにもご参加いただき、当校の教員等と共同して研究に取り組みます。

講師派遣・施設設備貸与

社員教育（研修、講習等）をご検討されている事業主等の皆様に、部内講師の派遣を行っております。また、当校の教室・実習場等の施設設備のみの貸与も行っております。（P30、31）

も く じ

新潟職業能力開発短期大学校とは	2
も く じ	3
セミナー受講のご案内	4
各種助成金制度のご案内	5
一覧から探す	6～7
セミナー受講マップ（機械系）	8～9
セミナー受講マップ（電気系）	10
セミナー受講マップ（電子・情報系）	11～12
セミナー受講マップ（居住系）	13～14

能力開発セミナーコース内容

機 械 系

電 気 系

電子・情報系

居 住 系

オーダーメイドセミナーのご案内	27
受講された方々の声をご紹介します	28～29
施設利用のご案内	30
講師派遣のご案内	31
生産性向上支援訓練のご案内	32
高度ポリテクセンターのご案内	33
北陸ブロック 能力開発セミナー一覧	34～36
北陸ブロック 能力開発施設のご案内	37
よくあるご質問	38
受講申込書	39

ハロートレーニング



ハロトレくん

能力開発セミナーコース内容

機 械 系	機械設計	15
	制御システム設計	15
	金属加工／成形加工	16
	測定・検査	16～17
	生産設備保全	17
	教育訓練	17～18
電 気 系	制御システム設計	19～20
	生産システム設計	21
	生産設備保全	21
電 子 ・ 情 報 系	制御システム設計	22～23
	機器組立／システム組立	23
居 住 系	建築計画／建築意匠設計	24～25
	建築構造設計	25～26

本パンフレットの掲載コースを別日程でオーダーメイドセミナーとして実施することもできます。

◎ セミナー受講のご案内 【必ずお読みください】

1 お申込み

- 事前にお電話で希望コースの空き状況をご確認ください。
- 空き状況確認後、「能力開発セミナー受講申込書」に必要事項を記入の上、FAXまたは郵送・持参によりお申し込みください。なお、当短大から申込書到着のご連絡はいたしません。
(電話での受付はしておりません。)

2 受講料の納入

- セミナー開講日の10日前までを目途に「受講決定通知書」「受講票」及び受講料払い込み口座等を記載した「請求書」を送付いたします。なお、お手元に届かない場合には、お手数でもご連絡ください。
- セミナー開講日の7日前までに銀行へ受講料を払い込みください。(振込手数料は受講者負担となります。また、現金でのお取り扱いは行っておりませんのでご了承ください。)

3 キャンセルまたは受講者の変更

- お申し込み後の「キャンセル」は、開講日の7日前までに学務援助課へ必ずご連絡ください。(受講料をお振込み後、開講日の7日前までのキャンセルについては、受講料を返金いたします。開講日前6日以内のキャンセルについては、受講料の返還はできませんのでご了承ください。)
- 受講者の変更は開講日前日までに学務援助課へご連絡ください。

4 コースの中止と変更

- 受講申し込みが一定の人数に達していない場合や感染症の拡大状況等により中止または日程変更をさせていただく場合がありますのであらかじめご了承ください。
その場合は、セミナー開始日までに文書または電話にてご連絡いたします。
なお、中止になった場合は、納入いただいた受講料は返金いたします。

5 セミナー受講

- 開講初日は、受講票をお持ちになり、受講票に記載されている会場へ、直接、お入りください。本館玄関入口及び会場付近に会場案内が掲示してあります。
- 自然災害等(特別警報発令時)に対するセミナー休止措置について
能力開発セミナーにおいては、自然災害発生時等でも可能な範囲で平常どおり開講する方針です。しかし、受講者の安全確保のため、セミナーの休止等の措置を講じることがあります。自然災害等(特別警報発令時)に対するセミナー休止に関する情報は当校公式X(旧Twitter)でお知らせいたします。また休止後の代替措置については後日ご連絡いたします。
- アンケート調査のお願い
全てのコースについて、セミナーをより良いものにするため、受講者及びその事業主の方に対して、コース内容に関する満足度等についてのアンケート調査への回答をお願いしております。なお、一部のコースについては、後日、コース内容の活用状況についても同様をお願いしております。



◎ 各種助成金制度のご案内

当校の講習会を受講する際に利用できる事業主を対象とした助成金制度があります。事業所規模や業種、経費の額(受講料他)等に係る条件を満たした場合のみ対象となります。詳しくは各助成金の窓口までお問い合わせください。(事後申請はできないのでご注意ください)

1 市町村の助成金(セミナー受講料・旅費の一部助成)

新潟市 人材育成助成金・補助金

■事務局・問い合わせ先

新潟市 各区役所担当課

北区役所産業振興課	TEL 025-387-1356	東区役所地域課	TEL 025-250-2170
中央区役所地域課	TEL 025-223-7054	江南区役所産業振興課	TEL 025-382-4809
秋葉区役所産業振興課	TEL 0250-25-5689	南区役所産業振興課	TEL 025-372-6507
西区役所農政商工課	TEL 025-264-7630	西蒲区役所産業観光課	TEL 0256-72-8454

村上市 人材育成サポート事業補助金

■事務局・問い合わせ先 村上市地域経済振興課 TEL 0254-75-8942

胎内市 中小企業等支援事業補助金 育てる支援事業「研修参加費」

■事務局・問い合わせ先 胎内市商工観光課 TEL 0254-43-6111

阿賀野市 中小企業人材育成支援事業補助金

■事務局・問い合わせ先 阿賀野市商工観光課 TEL 0250-62-2510

燕市 研修受講料補助制度

■事務局・問い合わせ先 燕市商工振興課 TEL 0256-77-8231

聖籠町 中小企業人材育成事業補助金

■事務局・問い合わせ先 聖籠町産業観光課 TEL 0254-27-2111

関川村 むらづくり総合推進事業 人材育成事業

■事務局・問い合わせ先 関川村地域政策課 TEL 0254-64-1478

上記は当校周辺市町村の助成制度です。新潟県内の他の市町村でも、人材育成事業に係る助成金を設けているところがあります。事業所所在地の市町村にご照会ください。

2 国の助成金

人材開発支援助成金

従業員に能力開発セミナーや生産性向上訓練を受講させた事業主に対し、訓練期間中の経費や賃金の一部助成をします。助成メニューは以下の7類型です。それぞれの助成要件が異なりますので、厚生労働省のホームページをご確認ください。なお、「障害者職業能力開発コース」は、令和6年度から当機構が支給業務を行う「障害者能力開発助成金」(新設)へ移管しました。

- 1 人材育成支援コース 2 教育訓練休暇等付与コース 3 建設労働者認定訓練コース
4 建設労働者技能実習コース 5 人への投資促進コース 6 事業展開等リスティング支援コース

中小企業の定義 中小企業基本法第2条第1項に規定する中小企業者

区分	資本金の額	従業員数
製造業・運輸業・建設業等	3億円以下	300人以下
卸売業	1億円以下	100人以下
サービス業	5千万円以下	100人以下
小売業	5千万円以下	50人以下

○ 一覧から探す

【機械系】

分野	コース番号	コース名	頁数	定員	受講時間	実施時間帯	受講料	日数
機械設計	2M540	実践機械製図	15	10	14	9:00~17:00	10,500	2
	2M711	3次元CADを活用したソリッドモデリング技術	15	10	12	9:30~16:30	10,500	2
制御システム設計	2M460	空気圧実践技術(空気圧装置組立て)	15	10	14	9:00~17:00	12,000	2
金属加工	2M920	金型の鏡面みがき技法<金型みがき一般から鏡面まで>	16	10	14	9:00~17:00	20,500	2
成形加工	2M660	鉄鋼材料の熱処理技術<鉄鋼材料の材料特性と活用技術>	16	10	12	9:30~16:30	19,500	2
測定・検査	2M641	精密測定技術(機械検査編)	16	10	12	9:30~16:30	9,000	2
	2M651	精密測定技術(精度管理編)	17	10	12	9:30~16:30	9,000	2
生産設備保全	2M451	生産現場の機械保全技術(機械系実技)	17	10	12	9:30~16:30	11,500	2
教育訓練	2M620	プレゼンテーションテクニック	17	10	12	9:30~16:30	8,500	2
	2M930	製造現場で活用するコーチング手法	18	10	18	9:30~16:30	18,000	3

【電気系】

分野	コース番号	コース名	頁数	定員	受講時間	実施時間帯	受講料	日数
制御システム設計	2D002	有接点シーケンス制御の実践技術	19	10	12	9:30~16:30	12,000	2
	2D011	シーケンス制御による電動機制御技術	19	10	12	9:30~16:30	12,000	2
	2D031	PLC制御の応用技術	19	10	12	9:30~16:30	12,000	2
	2D041	PLCプログラミング技術(SFC編)	20	10	12	9:30~16:30	12,000	2
	2D051	PLCによるタッチパネル活用技術	20	10	12	9:30~16:30	12,000	2
	2D070	PLCによる位置決め制御技術	20	5	12	9:30~16:30	15,500	2
生産システム設計	2D075	無線センサネットワーク活用による製造現場監視技術(Micro Python編)	21	10	12	9:30~16:30	12,000	2
生産設備保全	2D080	電気系保全実践技術	21	10	12	9:30~16:30	12,000	2
	2D091	現場のための電気保全技術	21	10	12	9:30~16:30	12,000	2

【電子・情報系】

分野	コース番号	コース名	頁数	定員	受講時間	実施時間帯	受講料	日数
制御システム設計	2D503	組込み技術者のためのプログラミング(C言語・PIC編)	22	10	12	9:30~16:30	13,000	2
	2D701	組込みLinuxによるTCP/IP通信システム構築	22	10	12	9:30~16:30	8,000	2
	2D702	実習で学ぶ画像処理・認識技術	22	10	12	9:30~16:30	8,000	2
	2D703	画像処理・認識アルゴリズムの知識とプログラム開発技術	23	10	12	9:30~16:30	8,000	2
	2D803	オープンソフトウェアライブラリを用いた人工知能(AI)活用技術	23	10	12	9:30~16:30	8,000	2
機器組立/システム組立	2D504	基板製作に係る鉛フリーはんだ付け技術	23	10	12	9:30~16:30	13,000	2

【居住系】

分野	コース番号	コース名	頁数	定員	受講時間	実施時間帯	受講料	日数
建築意匠設計	2H004	BIMを用いた建築設計技術	24	10	12	9:30~16:30	7,500	2
	2H108	実践建築設計2次元CAD技術(jw_cad編)	24	10	12	9:30~16:30	8,500	2
	2H111	実践建築設計2次元CAD技術(AutoCAD編)	24	10	12	9:30~16:30	8,000	2
	2H009	高齢者配慮住宅のリフォーム計画実践技術	25	10	12	9:30~16:30	8,500	2
建築構造設計	2H007	木造住宅における壁量計算技術	25	10	12	9:30~16:30	7,500	2
	2H014	木造住宅の架構設計技術	25	10	12	9:30~16:30	8,000	2
	2H013	木造住宅における許容応力度設計技術	26	10	12	9:30~16:30	11,500	2

10月	11月	12月	1月	2月	3月
		11.12			
9/28.10/5					
	20.21				
24.25					
8.9					
	6.7				
		10.11			
	6.8				
			14.15		
21.22.23					

10月	11月	12月	1月	2月	3月
					13.14
	5.6				
	7.8				
			16.17		
			28.29		
	28.29				
		19.20			
	19.20				
	12.13				

10月	11月	12月	1月	2月	3月
31	1				
12.19					
		14.21			
					22.29
		14.21			
					13.14

10月	11月	12月	1月	2月	3月
28.29					
22.29					
	20.27				
	21.28				
					12.19
			15.22		
9/28.10/5					

◎ セミナー受講マップ

【機械系コース】

: 後期用コース

: 開催実績有

機械設計・製図・CAD

2次元CADによる
機械製図技術

3次元CADを活用した
ソリッドモデリング技術

2M711 15ページ

実践機械製図

2M540 15ページ

切削加工を考慮した機械設計製図
<「めっちゃ使える!設計目線で見ると部品加工の
基礎知識」の共著者が教える設計製図>
(ポリテクセンター新潟)

幾何公差の解釈と活用演習

幾何公差の解釈と活用演習
<「図面って、どない描くねん!」の
著者が教える幾何公差>
(ポリテクセンター新潟)

機械設計のための総合力学

機械保全

生産現場の機械保全技術(機械系実技)

2M451 17ページ

空気圧実践技術(空気圧装置組立て)

2M460 15ページ

精密測定

精密測定技術(機械検査編)

2M641 16ページ

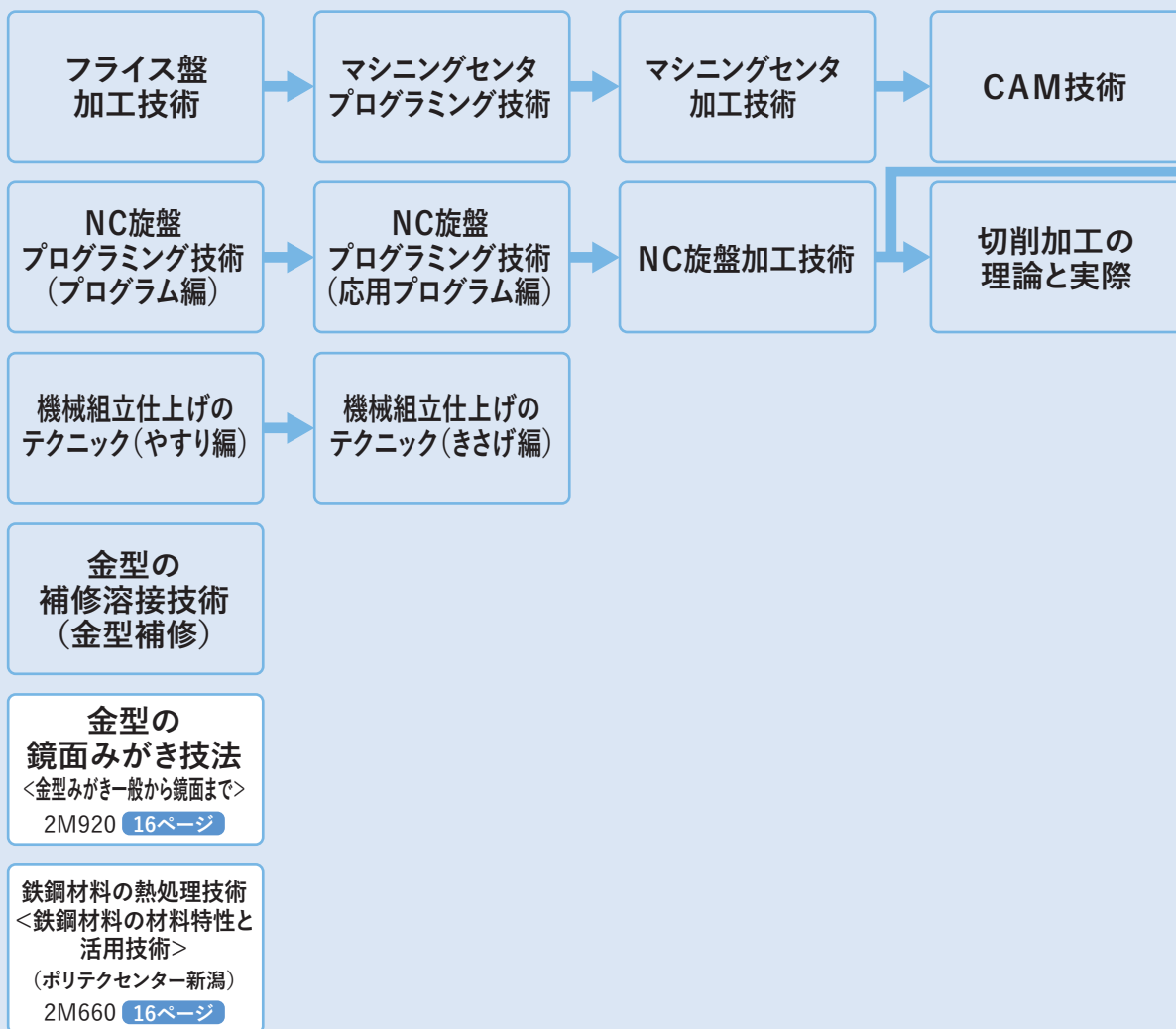
精密測定技術(精度管理編)

2M651 17ページ

計測における信頼性(不確かさ)
の評価技術

※この順序で受講されることをお勧めしますが、ご希望によりどのコースからでも受講できます

機械加工・手仕上げ・熱処理



生産管理・教育・品質管理

- 製造現場で活用するコーチング手法
2M930 18ページ
- プレゼンテーションテクニック
2M620 17ページ
- プレゼンテーションテクニック(オンライン)
- NEW** 生産現場に活かす品質管理技法

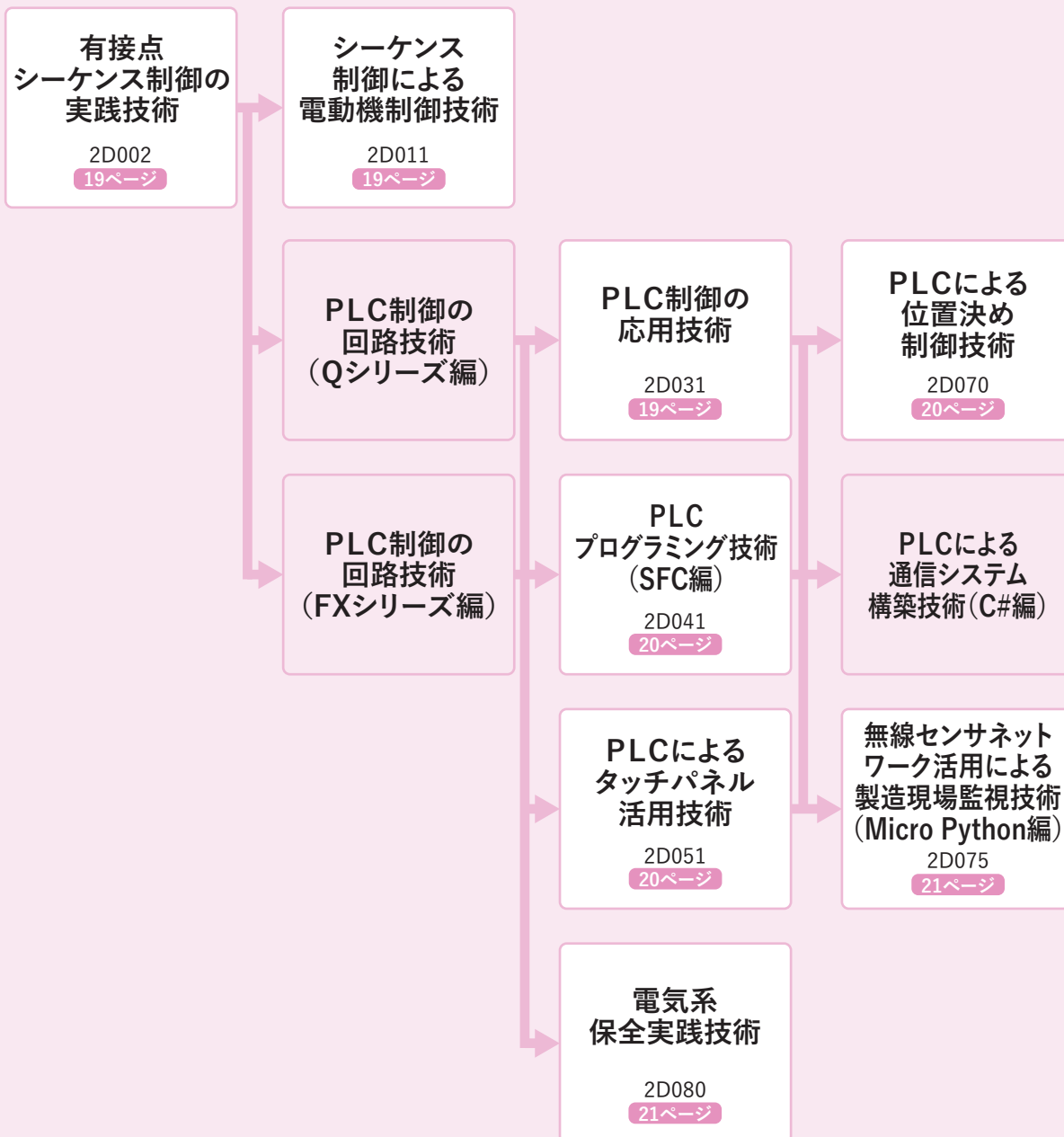
※この順序で受講されることをお勧めしますが、ご希望によりどのコースからでも受講できます

【電気系コース】

: 後期用コース

: 開催実績有

制御技術分野 (有接点、PLC等による制御関連の技術を習得したい方)



電気設備分野 (電気設備の保守・点検技術を習得したい方)

現場のための電気保全技術

2D091 21ページ

※この順序で受講されることをお勧めしますが、ご希望によりどのコースからでも受講できます

【電子・情報系コース】



:後期用コース



:開催実績有

電子回路分野 (電子回路技術を習得したい方)

センサ回路の設計技術

マイコン分野 (マイコン技術を習得したい方)

組み込み技術者のための
プログラミング(C言語・PIC編)

2D503 22ページ

マイコン制御システム開発技術

組み込みLinuxによる
TCP/IP通信システム構築

2D701 22ページ

通信分野 (インターネット技術を習得したい方)

製造現場におけるLAN活用技術

Webを活用した生産支援
システム構築技術(ASP, Net編)

Webを活用した生産支援
システム構築技術(サーバサイドPHP編)

画像処理 (画像処理技術を習得したい方)

実習で学ぶ画像処理・認識技術

2D702 22ページ

画像処理・認識アルゴリズムの
知識とプログラム開発技術

2D703 23ページ

※この順序で受講されることをお勧めしますが、ご希望によりどのコースからでも受講できます

AI分野（AI技術を習得したい方）

オブジェクト指向による
組み込みプログラム開発技術
（Python言語編）

NEW

ディープラーニングシステム
開発技術

オープンソフトウェアライブラリを
用いた人工知能（AI）活用技術

2D803 [23ページ](#)

統計解析分野（生産プロセス改善等の技術を習得したい方）

生産プロセス改善のための統計解析

IoT分野（IoT技術を習得したい方）

センサを活用したIoTアプリケーション開発技術

電子機器組み立て分野（はんだ付け技術を習得したい方）

基板製作に係る鉛フリーはんだ付け技術

2D504 [23ページ](#)

※この順序で受講されることをお勧めしますが、ご希望によりどのコースからでも受講できます

【居住系コース】

:後期用コース

:開催実績有

建築図面作成技術 (CADを習得したい方)

実践建築設計2次元CAD技術(jw_cad編)

2H108 **24ページ**

実践建築設計2次元CAD技術(AutoCAD編)

2H111 **24ページ**

BIMを用いた建築設計技術

2H004 **24ページ**

実践建築設計3次元CAD技術
(マイホームデザイナーモデリング編)

実践建築設計3次元CAD技術
(設計図面とプレゼンテーション編)

DX関連技術

CPD認定コース(予定)

地理情報システムの運用技術

CPD認定コース(予定)

ARを活用した建築プレゼンテーション技法

※この順序で受講されることをお勧めしますが、ご希望によりどのコースからでも受講できます

建築計画実践技術（実践的な図面等作成）

高齢者配慮住宅の
リフォーム計画実践技術

2H009 25ページ

木造住宅における
許容応力度設計技術

2H013 26ページ

住宅計画実践技術

NEW

木造住宅の間取りと架構設計技術

木造住宅における壁量計算技術

2H007 25ページ

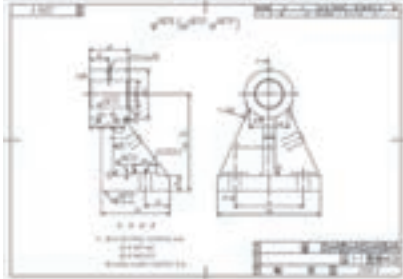
木造住宅の架構設計技術

2H014 25ページ

※この順序で受講されることをお勧めしますが、ご希望によりどのコースからでも受講できます

「機械系」


実践機械製図

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
2M540	12/11(水)・12(木)	9:00~17:00	14H	10名	10,500円
対象者	機械設計製図業務に従事している方またはその候補者				
概要	機械製図に関する基本的かつ総合的な知識、技能を実習を通して習得する。				
講習内容	1. 製図一般 (1) 投影図、等角図、補助投影図、断面図 (2) 寸法記入 (3) 表面性状 等 2. まとめの課題				
使用機器	製図道具一式				
持参品	筆記用具				


3次元CADを活用したソリッドモデリング技術

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
2M711	9/28(土)・10/5(土)	9:30~16:30	12H	10名	10,500円
対象者	短期で操作方法など身につけたい方。これから3DCAD作業に従事する予定の方				
概要	ものづくりにおけるプロセスの効率化・最適化に向け、3次元CADに関する知識、技能を習得する。				
講習内容	1. 3次元CAD技術について 2. 2次元スケッチ 3. 基本ツールによるモデリング 4. 部品図のモデリングおよびアセンブリ技術				
使用機器	3次元CADシステム (CATIA)				
持参品	筆記用具				


空気圧実践技術（空気圧装置組立て）

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
2M460	11/20(水)・21(木)	9:00~17:00	14H	10名	12,000円
対象者	空気圧装置の組立・保全業務などに従事している方またはその候補者				
概要	空気圧回路組立実習を通して、空気圧機器の構造、回路図記号、主要制御回路を理解し、空気圧回路構築に関する技能と技術を習得する。				
講習内容	1. 空気圧の概要 2. 空気圧機器の構成 3. 課題実習（空気圧装置組み立て作業課題）				
使用機器	測定器具一式				
持参品	筆記用具				


金型の鏡面みがき技法<金型みがき一般から鏡面まで>

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
2M920	10/24(木)・25(金)	9:00~17:00	14H	10名	20,500円
対象者	射出成形等の金型製作・保全に従事している方またはその候補者				
概要	プラスチック金型の金型鏡面仕上げ技術について、実習を通して習得する。				
講習内容	1. 金型の部位・形状別のみがきの要点 2. 機器によるみがきの要点・鏡面研磨実習・演習 元 株式会社 日立産機システム中条事業所に勤務 白井 成三 氏 ●黄綬褒章受章●現代の名工				
使用機器	実体顕微鏡、回転工具他				
持参品	電卓、筆記用具、作業服、作業帽、保護メガネ				


鉄鋼材料の熱処理技術 <鉄鋼材料の材料特性と活用技術>

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
2M660	10/8(火)・9(水)	9:30~16:30	12H	10名	19,500円
対象者	鉄鋼材料の基礎的特性・加工・表面処理技術等を学びたい、学びなおしたい方				
概要	加工時間やコストの削減を目指し、鉄鋼材料の知識と各種加工、表面処理方法等生産に係る作業の特性に応じ、適切な条件で活用できるよう知識・技術を習得する。				
講習内容	1. 鉄鋼材料の特性を生み出す元素と結晶 2. 鉄の特性 3. 鉄鋼材料の種類と用途 4. 熱処理の種類と目的 5. 材料特性に合わせた切削加工の知識		講師：ソフィアフロント 横山 明宜 氏 (元サンドビック株式会社) ※会場：ポリテクセンター新潟(長岡市)		
使用機器	「元素から見た鉄鋼材料と切削の基礎知識」横山明宜著				
持参品	筆記用具、ノート				


精密測定技術 (機械検査編)

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
2M641	11/6(水)・7(木)	9:30~16:30	12H	10名	9,000円
対象者	機械加工作業における測定・検査業務の基本事項を学びたい、学びなおしたい方				
概要	測定作業の生産性向上を目指し、適正化に向けた測定実習を通して、精密で信頼性の高い測定を行うため、測定器の定期検査方法を含めた正しい取り扱いと、測定方法、誤差要因とその対処に必要な技能・技術を習得する。				
講習内容	1. 測定の概要 2. ノギス 3. マイクロメータ 4. ダイアルゲージ 5. ブロックゲージ 6. 課題実習 (機械検査作業課題)				
使用機器	各種長さ測定器				
持参品	筆記用具				


精密測定技術（精度管理編）

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
2M651	12/10(火)・11(水)	9:30~16:30	12H	10名	9,000円
対象者	測定・検査業務に従事している方またはその候補者				
概要	長さ測定器を主とした測定器の精度管理方法について習得する。				
講習内容	1. マイクロメータ類の定期検査実習 (平面度、平行度、器差の測定) 2. ノギス類の定期検査実習 (器差測定) 3. ダイヤルゲージ類の定期検査実習				
使用機器	測定器具一式				
持参品	筆記用具				

生産現場の機械保全技術（機械系実技）

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
2M451	11/6(水)・8(金)	9:30~16:30	12H	10名	11,500円
対象者	生産現場の機械保全作業に従事している方またはその候補者				
概要	故障対応・予防に向けた機械要素の保全実習を通して、機械保全に関する技能と技術を習得する。				
講習内容	1. 機械保全とトラブル事例 2. 歯車減速機の分解・組立実習 3. 課題実習（機械保全（機械系・実技）作業課題）				
使用機器	油空圧機器、歯車減速装置				
持参品	筆記用具				

プレゼンテーションテクニック

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
2M620	1/14(火)・15(水)	9:30~16:30	12H	10名	8,500円
対象者	プレゼンテーションのベーステクニックを学びたい、学びなおしたい方				
概要	社員間、特に新入社員や今後入社予定の学生に対し、プレゼンテーション、コミュニケーションを通じ会社のアピール向上を目指す。				
講習内容	1. コース概要及び留意事項 2. プレゼンテーションの基本 3. 説得の技術 伝え方の工夫 4. 実習演習 5. 総合演習 6. まとめ				
使用機器	パソコン、プレゼンテーションソフト				
持参品	筆記用具				


製造現場で活用するコーチング手法

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
2M930	10/21(月)・22(火)・23(水)	9:30~16:30	18H	10名	18,000円
対象者	製造現場に従事する技能・技術者等で指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者				
概要	部下の指導方法や育成方法など製造業に適したコーチング手法を実践的な実習を通して習得します。				
講習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生産活動とコーチング 2. 現場指導者が目指すもの 3. 職務経験、技能習熟度、職場改善とコーチング <p>元 株式会社 日立産機システム中条事業所に勤務 常泉 善男 氏 ●黄綬褒章受章●ものづくり日本大賞●現代の名工</p>				
使用機器					
持参品	筆記用具				

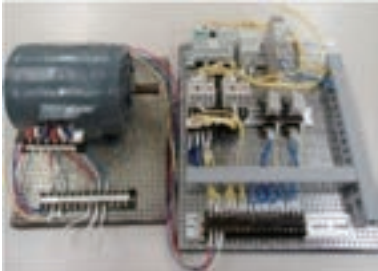


「電気系」

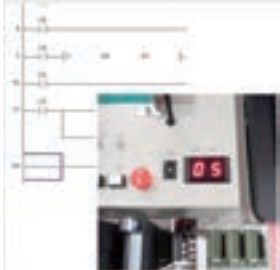
有接点シーケンス制御の実践技術

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
2D002	3/13(木)・14(金)	9:30~16:30	12H	10名	12,000円
対象者	制御回路等の設計・組立・配線作業に従事する方、または従事する予定の方				
概要	自動生産システムの効率化・最適化をめざして、各種制御機器の選定方法、各種制御回路を理解し、総合実習を通して制御回路の設計・製作方法を習得します。				
講習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. シーケンス制御概要 2. 制御記号と図記号 3. 配線作業について 4. タイムチャート 5. 論理回路 6. 順序回路 7. 時限回路 				
使用機器	シーケンス実習装置（電気系保全実技試験学習ユニット）、テスタ、工具一式				
持参品	筆記用具				


シーケンス制御による電動機制御技術

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
2D011	11/5(火)・6(水)	9:30~16:30	12H	10名	12,000円
対象者	シーケンス制御回路の設計・組立・配線作業に従事している方、または今後従事する予定のある方				
概要	シーケンス制御設計の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、安全性向上に向けた電動機制御実習を通して、電動機制御の実務能力を習得する。				
講習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. シーケンス制御の概要 2. 低圧制御盤用機器 3. 電線接続・配線について 4. 配線設計 5. 直入れ駆動回路 6. 正転逆転回路 7. Y-Δ始動回路 				
使用機器	シーケンス実習装置、テスタ、工具一式				
持参品	筆記用具				


PLC制御の応用技術

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
2D031	11/7(木)・8(金)	9:30~16:30	12H	10名	12,000円
対象者	自動化設備の設計・保守業務の作業に従事している方、または今後従事する予定のある方				
概要	シーケンス（PLC）制御設計の生産性の向上をめざして、最適化に向けた数値処理実習を通して、PLCによる機器制御の応用技術を習得する。				
講習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 数値データの取扱い 2. 数値処理命令（転送、演算命令など） 3. 数値データの入出力処理 4. 総合課題 				
使用機器	シーケンス実習装置（シーケンス作業実技試験学習ユニット）、三菱PLC、工具一式				
持参品	筆記用具				


PLCプログラミング技術（SFC編）

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
2D041	1/16(木)・17(金)	9:30～16:30	12H	10名	12,000円
対象者	自動化設備の設計業務の作業に従事している方、または今後従事する予定のある方				
概要	シーケンス(PLC)制御設計の生産性の向上をめざし、SFC(シーケンシャルファンクションチャート)を使用したプログラム技法による自動制御システム制作実習を通じて、制御プログラム設計の実務能力を習得する。				
講習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. PLCの5つのプログラミング言語の特徴 2. 構造化の考え方 3. SFCによる回路設計 4. 総合実習 (手動自動切換え、障害発生時対策) 				
使用機器	シーケンス実習装置(シーケンス作業実技試験学習ユニット)、三菱PLC、工具一式				
持参品	筆記用具				

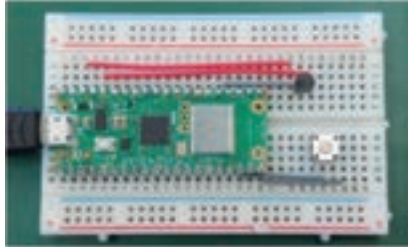
PLCによるタッチパネル活用技術

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
2D051	1/28(火)・29(水)	9:30～16:30	12H	10名	12,000円
対象者	シーケンス(PLC)制御設計業務に従事している方、または今後従事する予定の方				
概要	シーケンス(PLC)制御設計の生産性の向上をめざして、効率化、最適化(改善)に向けたタッチパネル活用によるFAライン管理実習を通して、タッチパネルを活用してFAライン管理技術を習得する。				
講習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. タッチパネルの概要 2. タッチパネルの画面設計 3. 表示画面とPLCプログラム 4. FAライン管理画面作成実習 5. まとめ 				
使用機器	PLC(三菱Qシリーズ)、タッチパネル(三菱GOT2000シリーズ)、電気機器組立検定対策ユニット(負荷装置)				
持参品	筆記用具				


PLCによる位置決め制御技術

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
2D070	11/28(木)・29(金)	9:30～16:30	12H	5名	15,500円
対象者	自動化設備の設計業務の作業に従事している方、または今後従事する予定のある方				
概要	シーケンス(PLC)制御設計の生産性の向上をめざして、最適化(改善)、安全性向上に向けた各種パラメータの設定およびプログラミングならびに位置決め制御回路設計実習を通して、PLCによる位置決め制御を習得する。				
講習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. コース概要及び留意事項 2. 位置決め制御の概要 3. 位置決め制御設計 4. プログラミング 5. 位置決め制御回路実習 6. まとめ 				
使用機器	三菱PLC、パソコン、実習装置、工具一式				
持参品	筆記用具				


無線センサネットワーク活用による製造現場監視技術 (Micro Python編)

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
2D075	12/19(木)・20(金)	9:30~16:30	12H	10名	12,000円
対象者	製造設備の設計・保守管理業務を担う技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者またはその候補者				
概要	生産自動化設計の新たな品質及び製品の創造を目指して高付加価値化に向けた無線システム構築実習を通じて無線センサネットワーク活用技術を習得する。				
講習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. コース概要及び留意事項 2. センサネットワーク 3. 無線システム構築 4. まとめ <p>評価用ワンボードマイコンはお持ち帰りいただけます。</p>		 <p>ワンボードマイコンによる測定回路</p>		
使用機器	パソコン、ワンボードマイコン (Raspberry pi Pico W)、プログラム開発環境				
持参品	筆記用具				

電気系保全実践技術


コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
2D080	11/19(火)・20(水)	9:30~16:30	12H	10名	12,000円
対象者	制御回路等の設計・組立・配線作業に従事している方、または今後従事する予定の方				
概要	生産システム保全の現場力強化をめざして、技能高度化、故障対応・予防に向けたFAラインを想定した総合実習を通して、制御機器の保全技術、故障箇所の特定からその対処方法及び安全管理技術を習得する。				
講習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. シーケンス制御概要 2. 制御機器に生じる不良要因 3. リレーや回路の故障原因と対策 4. 回路不良点検技術 5. 回路修復作業 6. タイムチャートの読み方 7. 動作仕様を満たすプログラミング 8. 改善指示によるプログラミング変更 				
使用機器	シーケンス実習装置 (電気系保全実技試験学習ユニット)、三菱PLC、工具一式				
持参品	筆記用具				

現場のための電気保全技術


コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
2D091	11/12(火)・13(水)	9:30~16:30	12H	10名	12,000円
対象者	機械・電気の保全の作業に従事している方、または今後従事する予定のある方				
概要	電気設備の現場作業の安全対策および機器の故障や劣化防止、測定試験、電気保全に関する技術を、実習を通して習得します。				
講習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電気の一般知識 2. 電気災害と対応策 3. 測定機器の取扱い 4. 機器配線のトラブルと対策 5. 総合実習 (回路計を使用した測定など) 				
使用機器	電気系保全作業実技試験学習ユニット、検電器、テスタ、クランプメータ、絶縁抵抗計、接地抵抗計				
持参品	筆記用具				

「電子・情報系」


組込み技術者のためのプログラミング（C言語・PIC編）

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
2D503	10/31(木)・11/1(金)	9:30~16:30	12H	10名	13,000円
対象者	組込みシステムの設計・開発業務に従事している方、または今後従事する予定の方				
概要	組込みシステム開発・設計の生産性の向上をめざして、効率化に向けた組込みマイコンシステムの構成や開発手法の実習を通して、システムの最適化のための設計・開発技法を習得する。				
講習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開発環境 2. 開発技法とプログラミング 3. 汎用言語と組込み言語 4. 制御構文 5. I/O制御実習 6. 動作確認・デバッグ 				
使用機器	PC、統合開発環境、ターゲットボード 他				
持参品	筆記用具				

組込みLinuxによるTCP/IP通信システム構築

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
2D701	10/12(土)・19(土)	9:30~16:30	12H	10名	8,000円
対象者	通信機器・計測制御機器の設計・開発に従事する技能・技術者等				
概要	組込みシステム開発・設計の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化（改善）に向けた通信システムの構築実習を通して、通信プロトコル、伝送手順、通信に関する実装技術を習得する。				
講習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. コース概要及び留意事項 2. TCP/IP通信システム概要 3. TCP/IP概要 4. ソケットシステムコールを活用した実装方法 5. まとめ 				
使用機器	パソコン、Linux				
持参品	書籍「TCP/IPソケットプログラミングC言語編」・オーム社（予定）、筆記具				

実習で学ぶ画像処理・認識技術

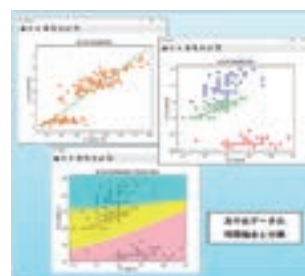
コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
2D702	12/14(土)・21(土)	9:30~16:30	12H	10名	8,000円
対象者	画像処理・認識技術関連業務に従事する技能・技術者等				
概要	画像処理/信号処理設計の新たな品質及び製品の創造をめざして高付加価値化に向けた画像処理・認識プログラミング実習を通して、画像処理・認識技術について習得する。				
講習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. コース概要及び留意事項 2. 画像処理システムの知識 3. デジタル画像処理の知識 4. 2値画像処理 5. 画像認識技術 6. まとめ 				
使用機器	パソコン				
持参品	書籍「デジタル画像処理改訂第二版」画像情報教育振興協会（予定）、筆記具				

画像処理・認識アルゴリズムの知識とプログラム開発技術

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
2D703	3/22(土)・29(土)	9:30~16:30	12H	10名	8,000円
対象者	画像処理・認識技術関連業務に従事する技能・技術者等				
概要	画像処理/信号処理設計の新たな品質及び製品の創造をめざして、高付加価値化に向けた画像認識アルゴリズムを理解しプログラム開発実習を通して、画像処理に関するプログラム開発技術を習得する。				
講習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. コース概要及び留意事項 2. 画像処理・認識の知識 3. 画像処理アルゴリズムの知識とプログラム開発技術 4. 画像認識アルゴリズムの知識とプログラム開発技術 5. まとめ 				
使用機器	パソコン				
持参品	書籍「実践Open CV4 for Python」永田雅人(予定)、筆記具				

オープンソフトウェアライブラリを用いた人工知能（AI）活用技術

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
2D803	12/14(土)・21(土)	9:30~16:30	12H	10名	8,000円
対象者	専門分野を問わず、今後の技術力の基盤としてAI技術を業務に活用したい方				
概要	画像処理/信号処理設計を活用した生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化(改善)に向けた畳み込みニューラルネットワーク実習を通して、AI活用技術を習得する。				
講習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 機械学習概要 2. 分類問題、画像処理・認識 3. Python概要 4. ディープラーニングフレームワーク 5. 畳み込みニューラルネットワーク 6. 再帰型ニューラルネットワークの概要 				
使用機器	PC、統合開発環境、ディープラーニングフレームワーク				
持参品	筆記用具				




基板製作に係る鉛フリーはんだ付け技術

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
2D504	3/13(木)・14(金)	9:30~16:30	12H	10名	13,000円
対象者	電子機器のはんだ付け作業に従事している方、または今後従事する予定のある方				
概要	デバイス・基板製造/実装組立の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化(改善)、安全性向上に向けた科学的知識に基づく鉛フリーはんだ付け実習を通して、鉛フリーはんだ付け作業の実践技術・管理技術を習得する。				
講習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 鉛フリー化 2. 手はんだ付けの科学的知識 3. 鉛フリー手はんだ付けの課題 4. 鉛フリー手はんだ作業のポイント 5. 鉛フリー手はんだ付け実習 6. まとめ 				
使用機器	温度コントローラ付はんだこて、実習用基板・部品等、工具一式、その他				
持参品	筆記用具				




「居住系」

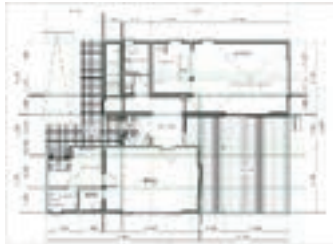
BIMを用いた建築設計技術

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
2H004	10/28(月)・29(火)	9:30~16:30	12H	10名	7,500円
対象者	設計業務にBIMの活用をお考えの方				
概要	BIM (Building Information Modeling) のメジャーソフトであるAutodesk Revitの基本操作を習得します。課題作成を通してBIMのプロセスを理解します。				
講習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. BIM の知識、Revitの特徴 2. BIM ソフトの操作方法 3. モデリング 4. プレゼンテーション 5. シート作成 				
使用機器	PC (Revit)				
持参品	筆記用具				


実践建築設計2次元CAD技術 (jw_cad編)

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
2H108	10/22(火)・10/29(火)	9:30~16:30	12H	10名	8,500円
対象者	設計業務にJw_CADの活用をお考えの方				
概要	Jw_CADの基本操作(コマンド)・各種設定について、図面の作成演習を通して、建築図面の作成・編集に活用できる手法習得を目指します。				
講習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. Jw_CADの操作概要(画面操作、基本設定) 2. 各種コマンド (作図・編集コマンド、レイヤグループ、印刷方法) 3. 図面作成演習(平面図・立面図の作成、既存図面の編集) 				
使用機器	PC (CAD等の簡単な操作があります)				
持参品	筆記用具、電卓				

実践建築設計2次元CAD技術 (AutoCAD編)

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
2H111	11/20(水)・11/27(水)	9:30~16:30	12H	10名	8,000円
対象者	建築図面の作成・編集に AutoCAD を活用する方				
概要	AutoCADのコマンド操作・各種設定について、図面の作成演習を通して、建築図面の作成・編集に活用する手法を習得します。				
講習内容	<p>AutoCADは自由度やカスタマイズ性が高い反面、設定の方法などハードルが高く感じます。このコースでは作図操作だけではなく基本的な設定についても解説します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. AutoCADの操作概要 2. 各種コマンド (作図・編集コマンド、各種スナップ機能など) 3. レイアウトと印刷 4. 図面作成演習 				
使用機器	PC (CAD等の簡単な操作があります)				
持参品	筆記用具、電卓				

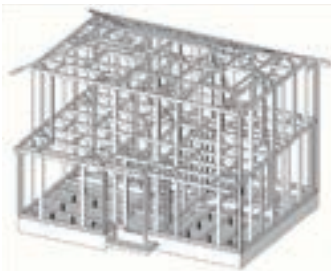
高齢者配慮住宅のリフォーム計画実践技術

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
2H009	11/21(木)・28(木)	9:30~16:30	12H	10名	8,500円
対象者	リフォームや高齢者向けに建築提案をしている方、または今後従事する予定のある方				
概要	高齢者社会の実態と日本家屋における居住環境について理解し、高齢者に配慮した空間づくりと改修方法を習得します。				
講習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 高齢者社会と居住環境 2. 高齢者対応空間と住宅設備機器 3. 高齢者に配慮したリフォーム計画 4. 設計実習 				
使用機器	PC (CAD等の簡単な操作があります)、方眼紙				
持参品	筆記用具、電卓				

木造住宅における壁量計算技術

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
2H007	3/12(水)・19(水)	9:30~16:30	12H	10名	7,500円
対象者	木造住宅を計画する仕事に従事している方、または今後従事する予定のある方				
概要	木造住宅の壁量計算実習を通して、構造的にバランスの良い住宅を提案し、お客様にもわかりやすく木造住宅の安全性を説明できるようになることを目指します。				
講習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. コース概要 2. 新潟県における地震被害について 3. 構造設計についての概要 4. 木造住宅の壁量設計と演習 5. 各種図面等の作成 				
使用機器	PC (CAD等の簡単な操作があります)				
持参品	筆記用具、電卓				

木造住宅の架構設計技術

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
2H014	1/15(水)・22(水)	9:30~16:30	12H	10名	8,000円
対象者	木造建築の設計・施工に従事している方				
概要	木造住宅における構造安定性を確保した構造計画(架構設計)及び構造伏図作成に必要な知識・技術を習得します。				
講習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 木造建築における構造計画・設計の概要 2. 直下率 3. 架構設計の手法 4. 伏図作成演習 				
使用機器	PC (CAD等の簡単な操作があります)				
持参品	筆記用具、電卓				

木造住宅における許容応力度設計技術

コース番号	実 施 日	時 間	訓練時間	定 員	受講料
2H013	9/28(土)・10/5(土)	9:30~16:30	12H	10名	11,500円
対 象 者	木造建築の設計・施工に従事している方方、または今後従事する予定のある方				
概 要	木造在来構法の構造設計における安全性向上をめざして、許容応力度計算法に基づいた設計実習を通して、計算方法を理解し理論的な根拠・ポイントを習得します。				
講習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. コース概要 2. 構造計画概要 3. 荷重・外力の算定 4. 許容応力度計算 5. 設計演習 				
使用機器	PC				
持 参 品	筆記用具、電卓				

◎ オーダーメイドセミナーのご案内

講習を受けたいが、掲載されているコースは日程が合わない。

自社では、担当者や機器・場所が不足しているためOJT研修ができない。

自社の実情や目的に合った研修を実施したい。

将来の技術革新に備えて体系的に技術習得をさせたい！

上記のような課題を抱えている、企業・事業主団体の皆様を支援します。
お気軽に学務援助課 TEL (0254-22-1781) までお問い合わせください

オーダーメイドセミナー計画のポイント

- ① この「能力開発セミナーコースガイド」に掲載しているコースは、全てオーダーメイドセミナーとして計画できます。（ご案内に紹介されていないコースについても、ご相談に応じます。）
- ② 会場は原則的に当校実施となりますが、出張セミナーにも対応可能です。
- ③ 定員は10名（基本的に）ですが、講習内容等により5名以上より実施可能です。（協力会社、系列会社等の合同実施でも可能です。）
- ④ 実施日・時間帯等にご相談下さい。
- ⑤ お一人の受講料は、教材及び当機構が定める諸経費を含めてご提示します。
* ご相談の内容・日程等により、実施できない場合がございますので予めご承知ください。

ご相談から実施までの流れ

ご相談対応 (内容・日程・受講者数など)

実施内容のご提案 受講料の見積額の提示

実施内容・受講料の確認

受講料の請求と納入

セミナーの実施

能力開発セミナーを受講された

受講者の声

令和4年度
満足度

99.7%



製造現場で活用する コーチング手法

不良の削減方法、部下への指導方法・伝え方、監督者としての自覚の認識。

金型の鏡面みがき技法 (みがき一般から鏡面まで)

オレンジピールは経験上起きている事柄だったが、今回の研修で知識として理解できた。

測定の高精度化における 品質管理の活用

自社ではこのレベルの知識まで勉強できない。とても勉強になりました。

3次元CADを活用した ソリッドモデリング技術

受講した3Dモデリング化は実践的で、非常にためになりました。

2次元CADによる 機械製図技術

とても丁寧に講義をしていただき、CADについて理解を深めることができました。

金型の補修溶接技術

現場での緊急対応に役立つ講義だった。部下に伝達していきたい。

シーケンス制御による 電動機制御技術

実践的な使用方法が理解できました。また機器の仕組みも分かりやすかったです。

現場のための 電気保全技術

どういった理由でやっているのかわからない点検業務が、セミナーを受けて理解できた。

RLC回路の設計・ 評価技術

実習を多く実施し、理論→実践を多くでき理解しやすかった。

Webを活用した 生産支援システム構築技術

受講生に合わせて講義していただき大変スムーズに学習できて良かったです。

ARを活用した建築 プレゼンテーション技法

普段触れられないホロレンズを操作できMRデバイスの長所・短所を確認できた。

実践建築設計3次元CAD技術 (設計図面とプレゼンテーション編)

CADを独学で学んでいたが、細かく教えていただけたことで明日からの業務もスムーズにこなせそう。

方々の

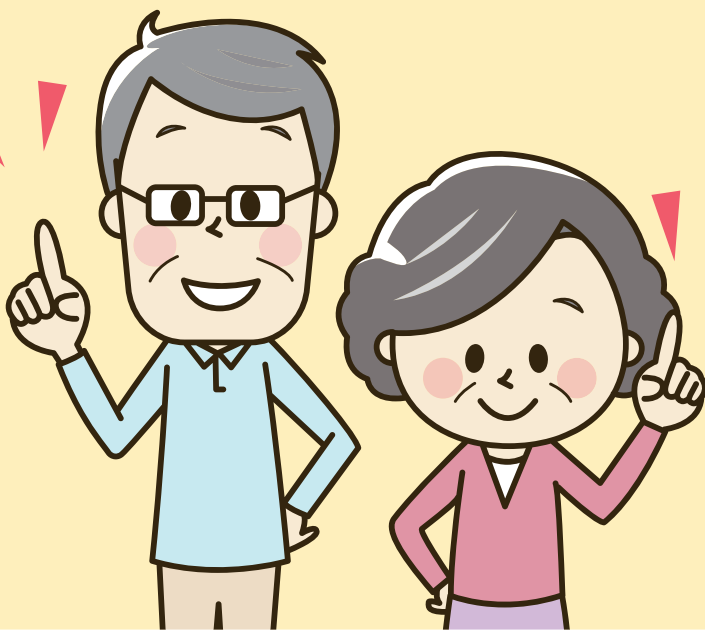
声

をご紹介します！

事業主の声

令和4年度
満足度

96.5%



NC旋盤加工技術

段取り替え習得・プログラムの理解。

金型の鏡面みがき技法 (みがき一般から鏡面まで)

チタン製品のみがき方の理屈を知り品質向上につながった。

製造現場で活用する コーティング手法

生産管理で流れの見方と考え方が向上した。

切削加工の理論と実際

部下を指導するにあたり、押さえておきたいポイントが分かった。

2次元CADによる 機械製図技術

設計スキル、要件伝達スキルが身につく。

旋盤加工技術

設備を活用し治具・工具の作成ができる。

金型の補修溶接技術

金型トラブルでの修繕対応の効率化。

機械組立仕上げの テクニク

個々の作業の積み重ねが品質向上につながる。

切削加工の理論と実際 (フライス加工編)

これまで勤に頼った作業をしてきたが、適切な加工条件が理解の上で出せるようになった。

一般用電気工作物の 施工技術

社内での指導者を育成するため。

現場のための 電気保全技術

色々な考え方により、作業効率UPが出来ることを感じた。

木造住宅の 基本計画技術

継続的にステップアップコースを検討することができる。

◎ 施設利用のご案内

事業主等の皆様が行う教育訓練等に対し、教室・実習場等の施設設備や機器等の貸与を行っています。

利用について

- 1 当校で実施する能力開発業務等に支障のない範囲で貸与いたします。
- 2 営利目的または政治、宗教活動及び公序良俗に反すると認められるものは貸与できません。
- 3 その他、貸与に関して、当校の施設等貸与規定により一部制限がありますので詳細については事前にご確認ください。
- 4 施設貸与については、別途施設管理費等がかかります。
- 5 施設設備を毀損、焼失等した場合は、その損害を賠償していただきます。
- 6 下表の施設設備一覧は一部です。これ以外の施設設備の詳細についてはお問い合わせください。また、使用料金が変わる場合があります。


施設設備一覧

施設貸出・利用料

事業主団体並びに団体傘下企業で従業員に対し、教育訓練を実施する場合に、施設機器等をご利用いただけるよう教育施設の貸与を行っています。

教室・実習場名	定員(名)	空調設備	通常期 1時間あたり	空調使用時 1時間あたり
多目的ホール	248	有	1,000円	1,100円
会議室	32	有	200円	300円
普通教室	25	有	200円	300円
パソコン教室	25	有	200円	300円
NC実習室	5	有	300円	400円
木材加工実習室	10	有	300円	400円
精密測定室	10	有	300円	400円

科名	生産技術科
機器名	3DCAD(CATIA)
メーカー名	ダッソーシステム




仕様
CATIA(R) Version5-6
機械系3DCADシステムです。

科名	生産技術科
機器名	3次元プリンター
メーカー名	Stratasys



仕様
最大造形寸法:
294mm×192mm×148.6mm(カタログ値)
積層厚: 28μm(カタログ値)
成形可能樹脂: 耐熱樹脂、硬質樹脂、ポリプロピレン相当
CADデータ互換: STL

科名	電気エネルギー制御科
機器名	リレー(継電器)試験器
メーカー名	(株)ムサシインテック



仕様
使用電源: AC100V 50/60Hz 1φ
継電器使用時2kVA(MAX)
保護継電器試験用のマルチリレーテスタです。

科名	電気エネルギー制御科
機器名	空気圧実習装置
メーカー名	当校オリジナル



仕様
構成機器: 各種空気圧シリンダ 電磁弁 等
空気圧実習をする際に使用する当校オリジナル実習機器です。

科名	電子情報技術科
機器名	信号源装置各種
メーカー名	Agilent 他



仕様
RF信号発生器 N9310A(周波数9kHz~3GHz、分解能0.1Hz、出力-127~+13dBm) ファンクションジェネレータ SG-4222(2ch、最大出力20Vp-p、7桁 200MHz) 直流通定化電源 E3631A(出力定格 出力1:0~6 V、0~5 A 出力2:0~+25 V、0~1 A 出力3:0~25 V、0~1 A)

科名	電子情報技術科
機器名	測定装置各種
メーカー名	Agilent 他



仕様
スペクトラムアナライザー N9320A(周波数9kHz~3GHz、最大帯域幅1MHz、DANL-145dBm) ミクスシグナルオシロスコープ MSO6104A(帯域1GHz、チャネル4ch、デジタル16ch、サンプリングレート4GS/s) オシロスコープ TDS3024B(帯域200MHz、4ch、サンプリングレート2.5GS/s) マルチメーター 34401A(B)16桁分画能、測定機能DC/AC電圧、DC/AC電流、2端子/4端子抵抗、ダイオード導通、周波数、周波) LCRメータ 4263A(周波数100~100kHz測定) (ラメータD,R,X)(インダクタD,Q) (表示桁4桁)

科名	住居環境科
機器名	振動試験装置
メーカー名	(株)サンエス



仕様
水平振動台
(外形寸法: 1700(W)×1000(D)×200(H))
振動加振器-起振器(最大加振力: 50kgf)
リアルタイム振動解析システム-振動制御システム
サーボ型加速度検出器

科名	住居環境科
機器名	万能試験機
メーカー名	(株)東京試験機製作所



仕様
引張、圧縮共 500kN

◎ 講師派遣のご案内

事業主の皆様が自ら行う社員教育や研修に対して、講師の派遣を行っています。

利用要件

- 1 講師派遣費は講師 1 人 1 時間当たり5,000円 (税込) です。
- 2 当校の施設、設備を使用して実施する場合は施設貸出・利用料、また、事業所へ出向いて実施する場合は交通費等の実費がかかります。
- 3 教材、消耗機材等の経費は事業主負担となります。

機械系コース

機械製図・CAD分野

- 機械製図
- 2次元CAD
- 3次元CAD

工作機械分野

- 汎用機械加工
- NC機械加工
- CAD/CAM

電気系コース

制御技術分野

- 電気設備
- シーケンス制御
- PLC制御
- メカトロニクス
- 電気工学
- コンピュータ工学

電子・情報系コース

デジタル回路分野

- デジタル回路

マイコン分野

- マイコン・ソフトウェア開発
- マイコン制御

ネットワーク分野

- インターネットなどの通信関連

パソコン制御分野

- コンピュータ制御
- プログラミング
- 人工知能などのコンピュータ制御
- 情報処理技術
- 情報リテラシ

電子機器組立て分野

- はんだ付け技術

電子工学分野

- 電子デバイス
- 電子回路

居住系コース

建築計画分野

- 建築計画
- 建築設計
- CAD/CG
- インテリア

建築構造設計分野

- 建築構造
- 木質構造

建築施工分野

- 建築施工
- 建築施工 (木質系施工)

◎ 生産性向上支援訓練のご案内

生産管理、IoT・クラウド活用、組織マネジメント、マーケティング、データ活用など、あらゆる産業分野の生産性向上に効果的なカリキュラムにより、70歳までの就業機会の確保に向けた中高年齢層の従業員の育成や、DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進に資する人材の育成を支援するなど、中小企業等が生産性を向上させるために必要な知識・スキルを習得するための訓練です。

個別企業の課題に合わせてカリキュラムをカスタマイズする訓練コースや、地域のニーズを踏まえた訓練コースを設定し、専門的知見を有する民間機関等に委託して実施します。

(1)訓練実施場所 **企業の自社会議室 など**

(2)訓練時間数 **6時間～30時間** (IT業務改善は、4時間～30時間)

(3)受講料 (1人あたり・税込) **3,300円～6,600円** (IT業務改善は、2,200円～4,400円)

(4)主な訓練分野・コース

生産・業務プロセスの改善

工程管理のポイントや見直し及び改善を行う際の課題とその解決方法など、生産管理や生産現場の業務プロセスの改善に必要な知識や手法の習得を主な目的としています。

横断的課題

既存の業務の効率化や業務の改善、あるいは70歳以上の就業機会の確保に向けて中高年齢者の役割の変化への対応やノウハウ継承に必要な知識や手法の習得を主な目的としています。

売上げ増加

マーケティングや広報戦略、新商品の企画・開発やサービスの高付加価値化を実現するために必要となる知識や手法の取得を主な目的としています。

IT業務改善

生産性を向上させるための手段としてITを活用する上で必要となるネットワーク、データ活用、情報発信、情報倫理・セキュリティに関する知識・手法の習得を主な目的としています。

- ・現場の課題を発見し、改善する方法を学びたい。
- ・RPAを活用して業務を自動化したい。
- ・テレワークを導入し業務を効率化したい。

- ・従業員の仕事の効率化を促進したい。
- ・リスクを低減させる方法を学びたい。
- ・ベテラン従業員の技術を後輩に継承させたい。

- ・顧客満足度の向上を図りたい。
- ・消費者の動向を営業に活用したい。
- ・インターネットを活用して販売促進を図りたい。

- ・データ集計の作業を効率化したい。
- ・マクロを使って定型業務を自動化したい
- ・集客につながるHPを作成したい

【生産・業務プロセスの改善】

- ・生産現場の問題解決 ・RPA活用
- ・テレワークを活用した業務効率化 など

【横断的課題】

- ・組織力強化のための管理
- ・後輩指導力の向上と中堅・ベテラン従業員の役割
- ・効果的なOJTを実施するための指導法 など

【売上げ増加】

- ・マーケティング志向の営業活動の分析と改善
- ・提案型営業実践 ・オンライン営業技術 など

【IT業務改善】

- ・表計算ソフトのマクロによる定型業務の自動化
- ・集客につなげるホームページ作成
- ・テレワークに対応したセキュリティ対策 など

「まずは試みに1～2名の従業員に訓練を受けさせたい」といった場合には…

広く受講者を募集して実施する公開型の訓練も実施しています。他社の従業員と一緒にグループワークなどを行うことで、自社の強みや課題の気づきにつながります。

DX人材育成の支援

生産性センターでは、「中小企業等DX人材育成支援コーナー」を設置し、企業の皆様からの「デジタル対応に係る人材育成の悩み」に関するご相談を受け付けています。また、在職者訓練・生産性向上支援訓練ではDXに対応した訓練コースを整備し、中小企業・事業主団体等のDX人材の育成を支援しています。

人材開発支援助成金が利用できます

訓練経費や訓練期間中の賃金の一部等の助成を受けることができます。助成金の利用にあたっては、一定の条件がありますので、詳しくは各都道府県の労働局にお問い合わせいただくか、厚生労働省ホームページをご確認ください。

eラーニング形式もあります

人気のある「業務効率向上のための時間管理」「成果を上げる業務改善」「職場のリーダーに求められる統率力の向上」の3コースは、まとめて2か月間920円/人の定額制（サブスクリプション型）eラーニングでも受講いただけます。要件を満たせば人材開発支援助成金をご利用いただけます。

お問合せ

生産性向上人材育成支援センター

- ポリテクセンター新潟(長岡市) TEL:0258-33-2455 FAX:0258-33-2422
- ポリテクカレッジ新潟(新発田市) TEL:0254-22-1781 FAX:0254-23-2169

さらなるスキルアップを目指すなら！



高度 ポリテクセンター

高度ポリテクセンターとはものづくり分野で働く方の成長をサポートする機関です。

年間 約700コースの豊富なカリキュラム
経験豊富な講師陣による実践的な研修内容
ぜひ社員教育の一環としてご利用ください！



18の技術分野

切削・研削加工
塑性加工・金型
射出成形・金型・溶接
測定・検査・計測
材料・表面処理・機械保全

現場運営・改善
環境・安全
機械設計
自動化

電気設備・自動制御
パワーエレクトロニクス
電子回路・画像・信号処理
組み込み・ICT
通信システム



人気コースの一例

詳しくは、公式サイトまたは
当センターのコースガイドをご覧ください。

- 金属材料の腐食対策
- カーボンニュートラルに向けた機械設計の進め方
- 実習でわかる省エネ診断と工場における省エネルギー技術
- AI・画像処理技術<集中育成コース>
- データサイエンス技術<集中育成コース>



お問合せ先

高度ポリテクセンター

TEL:043-296-2582 (事業課)

〒261-0014

千葉県千葉市美浜区若葉3-1-2

E-Mail: kodo-poly02@jeed.go.jp



公式サイト



X
(旧Twitter)



YouTube



Instagram

◎ 北陸ブロック 能力開発セミナー一覧

北陸ブロック内で実施予定の能力開発セミナーをご紹介します。
 詳細は各施設のホームページ等でご確認ください。（施設紹介は37ページにあります）

【機 械 系】

分 野	分類番号	コ ー ス 名	施 設									
			ポリテク 新潟	新潟 短大校	ポリテク 富山	北陸 能開大	ポリテク 石川	石川 短大校	ポリテク 福井	ポリテク 長野	ポリテク 松本	
機械設計	A201-005-A	機械装置の安全設計のポイント			○					○		
	A202-001-A	3次元ツールを活用した機械設計実習					○					
	A202-003-A	機械設計のための総合力学	○	○		○		○	○	○		
	A202-013-A	3次元CADを活用したアセンブリ技術			○		○	○		○	○	
	A202-014-A	現場に密着した機械・生産設計の技術ノウハウ					○					
	A202-020-A	最大実体公差方式の解釈と活用演習								○	○	
	A202-021-A	2次元CADによる機械設計技術							○			
	A202-022-A	2次元CADによる機械製図技術	○	○	○	○	○	○	○	○		
	A202-022-B											
	A202-023-A	実践機械製図	○	○	○		○	○		○		
	A202-024-A	切削加工を考慮した機械設計製図		○								○
	A202-028-A	幾何公差の解釈と活用演習		○						○	○	
	A202-036-A	3次元CADを活用したソリッドモデリング技術		○	○							○
	A202-037-A	設計に活かす3次元CADソリッドモデリング技術	○						○	○		
	A202-038-A	設計に活かす3次元CADアセンブリ技術					○					
	A202-Z01-A	3次元CADを活用した図面化技術			○							
	A202-Z01-A	プロダクトデザインのためのスケッチ製図技術							○			
	A202-Z01-A	各種加工方法を考慮した設計技術(切削加工、特殊加工、板金、溶接編)										○
	A205-017-A	設計品質向上のための機構解析技術			○							
A205-041-B	設計者CAEを活用した流体・熱流体解析			○								
A205-042-A	専任者CAEを活用した構造解析			○								
A205-043-A	CAEにおける非線形解析を活用した構造解析技術			○								
A405-016-A	人協働ロボット活用技術				○							
制御 システム設計	A406-002-A	油圧システム回路						○				
	A406-007-A	空気圧システム制御の実務						○				
	A406-008-A	空気圧実践技術		○	○				○			
機械加工	B101-001-A	旋削加工の理論と実際								○		
	B101-002-A	フライス加工の理論と実際	○									
	B101-003-A	切削加工の理論と実際		○					○		○	
	B101-008-A	旋盤加工応用技術	○					○		○		
	B101-A09-A	旋盤加工技術	○		○	○	○		○	○	○	
	B101-A09-B											
	B101-A14-A	フライス盤加工技術	○	○	○	○	○		○	○	○	
	B101-A14-B											
	B101-A15-A	フライス盤加工応用技術			○				○			
	B102-008-B	NC旋盤プログラミング技術	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	B102-009-B	NC旋盤加工技術		○	○				○	○		
	B102-010-A	カスタムマクロによるNCプログラミング技術							○	○		
	B102-011-A	マシニングセンタプログラミング技術	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	B102-011-B											
	B102-012-B	マシニングセンタ加工技術		○	○	○			○	○		
B102-014-A	CAM技術		○	○								
B102-016-A	5軸制御マシニングセンタ加工技術			○								
B105-001-A	機械組立仕上げのテクニク					○			○			
B106-001-A	工具研削実践技術					○						
金属加工/ 成形加工	B202-001-A	被覆アーク溶接技能クリニック			○							○
	B202-003-A	半自動アーク溶接技能クリニック	○		○		○					○
	B202-007-A	ステンレス鋼のTIG溶接技能クリニック	○		○		○					○
	B202-008-A	パルスTIG溶接実践技術										○
	B202-009-A	アルミニウム合金のTIG溶接技能クリニック	○		○							○
	B202-016-A	各種の溶接施工技術(アルミニウム合金編)			○							
	B202-022-A	金型の補修溶接技術		○								
	B202-022-A	設計・施工に活かす溶接技術					○					
	B202-025-A	設計・施工管理に活かす溶接技術	○									
	B202-031-A	ARシステムを用いた半自動アーク溶接の技能伝承										○
	B204-018-A	プレス加工技術				○						
	B205-013-A	金型の鏡面みがき技法		○								
	B206-001-A	鉄鋼材料の熱処理技術		○								
測定・検査	D101-001-A	精密測定技術	○		○		○	○	○	○	○	○
	D101-A01-A	精密測定技術(技能エキスパート編)										○
	D101-002-A	計測における信頼性(不確かさ)の評価技術	○	○								
	D101-005-A	三次元測定技術			○		○					
	D101-008-A	精密形状測定技術			○	○						
	D101-018-A	超音波探傷技術の応用					○					
	D106-Z01-A	CATを活用した三次元測定技術			○							

【機 械 系】

分 野	分類番号	コ ー ス 名	施 設								
			ポリテク 新潟	新潟 短大校	ポリテク 富山	北陸 能開大	ポリテク 石川	石川 短大校	ポリテク 福井	ポリテク 長野	ポリテク 松本
生産設備保全	X101-001-A	生産現場の機械保全技術	○	○						○	
	X101-001-B										
	X101-003-B	伝動装置の機械保全技術					○				
工場管理	X102-007-A	油圧システムの保全技術					○				
	X301-002-A	製造業における実践的生産管理			○	○					
	X301-005-A	生産性向上を目指した生産管理手法	○								
	X301-009-A	製造業におけるコストダウン実践法					○				
	X301-020-A	製造業における生産プロセスのIoT活用技術				○					
	X301-024-A	標準作業手順書の作り方と効果的な現場運用管理								○	
	X302-001-A	生産設備のムダ取り改善							○		
	X302-002-A	実践生産性改善							○		
	X302-006-A	標準時間の設定と活用								○	
	X302-010-A	生産現場改善手法									○
	X303-001-A	生産プロセス改善のための統計解析		○							
	X303-004-A	測定の高精度化における品質管理の活用			○						
	X303-005-A	生産現場に活かす品質管理技法		○	○		○				○
	X303-006-A	製造業に活かす品質管理技法								○	
	X303-010-A	新QC7つ道具活用による製造現場における品質改善・品質保証				○			○		
教育訓練	X305-004-A	原価管理から見た生産性向上							○		
	X305-A10-A	生産現場で使える原価管理							○		
	Z101-002-A	現場を動かすプレゼンテーションテクニック		○							○
	Z103-002-A	製造現場で活用するコーチング手法	○	○						○	
	Z103-003-A	生産現場で活用するリーダーシップ手法									○
	Z103-004-A	5Sによるムダ取り・改善の進め方	○				○			○	○

【電気・電子系】

分 野	分類番号	コ ー ス 名	施 設								
			ポリテク 新潟	新潟 短大校	ポリテク 富山	北陸 能開大	ポリテク 石川	石川 短大校	ポリテク 福井	ポリテク 長野	ポリテク 松本
電子回路設計	A301-005-A	トランジスタ回路の設計と評価の実践技術					○				
	A301-008-A	オペアンプ回路の設計・評価技術				○					
	A301-022-A	センサ回路の設計技術		○		○					
	A302-007-A	HDLによる回路設計技術						○			
	A303-009-A	プリント基板設計技術				○		○			
制御システム設計	A401-001-A	電動機制御のための有接点シーケンス制御						○			
	A401-002-A	シーケンス制御による電動機制御技術	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	A401-004-A	電動機のインバータ活用技術				○					
	A401-005-A	PLCプログラミング技術	○	○		○	○	○	○	○	○
	A401-006-A	PLC制御の回路技術	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	A401-007-A	PLC制御の応用技術	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	A401-008-A	PLCによる自動化制御技術					○	○			
	A401-009-A	PLCによる電動機制御の実務					○	○			
	A401-010-A	PLCによるインバータ制御技術				○	○				
	A401-012-A	PLCによる位置決め制御技術		○		○	○		○		
	A401-013-A	PLCによるFAセンサ活用技術				○			○		
	A401-014-A	PLCによるタッチパネル活用技術	○	○	○	○	○		○		○
	A401-015-A	PLCによるFAネットワーク構築技術			○	○	○				
	A401-016-A	PLCによる通信システム構築技術		○							
	A401-017-A	電気設計CADを活用した制御盤設計技術					○				
	A401-022-A	有接点シーケンス制御の実践技術	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	A402-024-A	マイコン制御システム開発技術		○		○	○				
	A402-037-A	パソコンによる計測制御システム				○					
	A402-053-A	オブジェクト指向プログラミングによるPLC制御用GUI開発技術			○						
	A402-061-A	表計算ソフトを活用したデータ通信プログラミング				○					
	A402-065-A	マイコンによるDCブラシ付きモータ制御技術				○					
	A402-Z01-A	マイコンを用いたワイヤレス通信システム構築							○		
	A403-002-A	組込みシステムにおけるプログラミング実践							○		
	A403-005-A	組込み技術者のためのプログラミング		○							
	A403-A05-A	組込み技術者のためのプログラミング (Rust編)							○		
	A403-B05-A	組込み技術者のためのプログラミング (Python編)							○		
	A403-015-A	リアルタイムOSによる組込みシステム開発技術							○		
	A403-019-A	組込みLinuxによるネットワークプログラミング技術				○			○		
	A403-019-A	組込みOS実装技術							○		
	A403-020-A	組込みLinuxによるTCP/IP通信システム構築		○							
A403-021-A	オブジェクト指向による組込みプログラム開発技術		○	○							
A403-A21-A	オブジェクト指向による組込みプログラム開発技術 (C#編)							○			
A403-B21-A	オブジェクト指向による組込みプログラム開発技術 (Python編)							○			
A403-C21-A	オブジェクト指向による組込みプログラム開発技術 (Java編)							○			
A403-024-A	オープンソースプラットフォーム活用技術 (使用機器: Android)							○			
A403-051-A	センサを活用したIoTアプリケーション開発技術		○					○			
A403-060-A	クラウドを利用した組込みマイコン活用技術 (ESP32マイコンプログラミング編)							○			

【電気・電子系】

分野	分類番号	コース名	施設								
			ポリテク 新潟	新潟 短大校	ポリテク 富山	北陸 能開大	ポリテク 石川	石川 短大校	ポリテク 福井	ポリテク 長野	ポリテク 松本
制御 システム設計	A403-061-A	クラウド活用によるIoTシステム構築技術						○			
	A403-062-A	IoT時代の組込みAI実装技術				○					
	A404-006-A	画像処理・認識アルゴリズムの知識とプログラム開発技術		○							
	A404-008-A	実習で学ぶ画像処理・認識技術		○		○					
	A404-009-B	オープンソースによる画像処理・認識プログラム開発(Python編)						○			
	A404-019-A	機械学習による欠陥検査・物体認識の高度化技術				○					
	A404-022-A	AI活用による画像認識システムの開発(Python編)						○			
	A404-025-A	ディープラーニングシステム開発技術		○							
	A405-014-A	産業用ロボット活用技術				○					
	A405-017-A	協働ロボットプログラミング制御技術				○					
	A406-008-A	空気圧実践技術			○	○					○
A406-014-A	PLCによる電気空気圧技術			○							
A499-003-A	オープンソフトウェアライブラリを用いた人工知能(AI)活用技術		○				○				
生産 システム設計	A502-007-A	Webを活用した生産支援システム構築技術		○							
	A502-017-A	無線センサネットワーク活用による製造現場監視技術		○		○					
	A503-009-A	FAセンサ活用技術			○						
電力・電気・ 設備設計	A503-Z07-A	ロボットシステム設計技術	○				○				
	A602-006-A	CADによる電気設備の設計技術					○				
通信設備・通信 システム設計	A605-003-A	実習で学ぶパワーエレクトロニクス回路				○					
	A703-002-A	製造現場におけるLAN活用技術(TCP/IP編)		○	○			○			
機械組立/ システム組立	A703-022-A	製造現場内ネットワークの構築			○						
	B302-001-A	基板製作に係る鉛フリーはんだ付け技術		○							
電力・電気・ 通信設備工事	C102-006-A	一般用電気工作物の施工技術	○				○				
	C105-002-A	光通信施工実践技術			○						
	C105-004-A	LAN構築施工・評価技術			○						
	C105-005-A	VLAN間ルーティング技術	○		○						
測定・検査	D102-002-A	電気回路の計測技術				○		○			
生産設備保全	X102-001-A	電気系保全実践技術	○	○	○	○					
	X102-003-A	有接点トラブルの評価と改善						○			
	X102-004-A	実践的PLC制御技術						○			
	X102-Z01-A	実習で学ぶ制御盤の安全検証試験	○								
	X102-Z01-A	空気圧機器の保全と省エネルギー対策技術			○						
	X103-002-A	高圧電気設備の保守点検技術			○		○				
	X103-003-A	低圧電気設備の保守点検技術			○						
	X103-005-A	保護継電器の評価と保護協調					○				
	X103-006-A	自家用電気工作物の高圧機器技術			○						
	X104-004-A	現場のための電気保全技術	○	○		○	○		○		
X105-004-A	太陽光発電システムのメンテナンス技術			○							

【居住系】

分野	分類番号	コース名	施設								
			ポリテク 新潟	新潟 短大校	ポリテク 富山	北陸 能開大	ポリテク 石川	石川 短大校	ポリテク 福井	ポリテク 長野	ポリテク 松本
建築計画/ 建築意匠設計	A801-007-A	BIMを用いた建築設計技術		○							○
	A801-009-A	BIMオブジェクト作成と効率的な活用実践技術									○
	A803-002-A	住宅計画実践技術		○							
	A804-001-A	木造住宅の間取りと架構設計技術		○							
	A804-002-A	在来木造住宅設計実践技術	○								
	A804-003-A	実践建築設計3次元CAD技術	○	○							○
	A804-004-A	実践建築設計2次元CAD技術	○	○					○		
	A804-005-A	ARを活用した建築プレゼンテーション技法		○							
	A808-001-A	地理情報システムの運用技術		○							
建築構造設計	A899-002-A	高齢者配慮住宅のリフォーム計画実践技術		○							
	A901-002-A	木造住宅における壁量計算技術		○							
	A901-004-A	木造住宅の架構設計技術		○							
建築設備工事	A901-005-A	木造住宅における許容応力度設計技術		○							
	C202-001-A	冷媒配管の施工と空調機器据付け技術					○		○	○	
	C203-001-A	トラブル事例から学ぶ各種管の加工・接合技術	○				○		○		

◎ 北陸ブロック 能力開発施設のご案内

新潟職業能力開発短期大学校は
裏表紙をご覧ください。

ポリテクセンター新潟 (新潟職業能力開発促進センター)

〒940-0044 新潟県長岡市住吉3丁目1番1号
TEL 0258-37-0450 FAX 0258-33-2422

交通アクセス

- 徒歩…長岡駅東口より南へ約1.4km約17分
- バス…長岡駅東口7番線発（市内循環バスを除く）
ポリテクセンター新潟下車
- タクシー…長岡駅東口より約5分

ポリテクセンター富山 (富山職業能力開発促進センター)

〒933-0982 富山県高岡市八ヶ55
TEL 0766-28-6901 FAX 0766-28-6931

交通アクセス

- バス…高岡駅より
「富大高岡キャンパス経由城光寺運動公園行」
（乗車約20分）
「富大高岡キャンパス」バス停下車（徒歩約1分）
- 電車…高岡駅より万葉線電車（乗車約20分）「米島口」下車
（徒歩約15分）
- タクシー…高岡駅より（約15分）

北陸職業能力開発大学校 (北陸ポリテクカレッジ)

〒937-0856 富山県魚津市川縁1289-1
TEL 0765-24-2204 FAX 0765-24-4770

交通アクセス

- バス…魚津市民バス（中島ルート）魚津駅前より
「北陸職業能力開発大学校前」下車（徒歩約1分）
- 電車…あいの風とやま鉄道「魚津駅」下車、タクシー約10分
富山地方鉄道方「西魚津駅」下車（徒歩約20分）

ポリテクセンター石川 (石川職業能力開発促進センター)

〒920-0352 石川県金沢市観音堂町へ-1
TEL 076-267-8864 FAX 076-267-0819

交通アクセス

- バス…中橋バス停より
「金石行き、大野港（または大野）行」（乗車約15分）
「観音堂」バス停下車（徒歩約3分）
- 車…金沢東ICより約20分、金沢西ICより約10分、金沢駅より約20分

石川職業能力開発短期大学校 (ポリテクカレッジ石川)

〒927-0024 石川県鳳珠郡穴水町由比ヶ丘いの45-1
TEL 0768-52-1323(代) FAX 0768-52-3139

交通アクセス

- バス…JR金沢駅（東口）より穴水此の木まで（乗車約90分）
此の木から短大まで車で約10分
- のと鉄道…JR金沢駅から穴水駅まで電車で約2時間

ポリテクセンター福井 (福井職業能力開発促進センター)

〒915-0853 福井県越前市行松町25-10
TEL 0778-23-1011 FAX 0778-23-1013

交通アクセス

- 電車…ハピライン「王子保駅」下車徒歩約20分
北陸新幹線「越前たけふ駅」下車タクシー約8分
- バス…ハピライン「武生駅」より福井鉄道バス「ポリテクセンター福井前」下車すぐ
ハピライン「武生駅」より越前市民バス「ポリテクセンター」下車すぐ
- タクシー…北陸新幹線「越前たけふ駅」より約8分

ポリテクセンター長野 (長野職業能力開発促進センター)

〒381-0043 長野県長野市吉田4-25-12
TEL 026-243-7805 FAX 026-243-2797

交通アクセス

- JR…北長野駅から徒歩約10分（線路沿いの歩道橋を渡り、東へ約1km）
- バス…（運動公園線）吉田東町停留所から徒歩約3分
- 長野電鉄…（長野方面）信濃吉田駅から徒歩約15分
（須坂方面）朝陽駅から徒歩約15分

ポリテクセンター松本 (松本訓練センター)

〒399-0011 長野県松本市寿北7-17-1
TEL 0263-58-3392 FAX 0263-58-5062

交通アクセス

- JR…平田駅から徒歩約20分
- アルピコバス…（寿台線）竹淵停留所から徒歩約10分 西原停留所から徒歩約5分

Q 受講申し込みは
どのようにしたらよいですか？

A 事前にお電話で希望コースの空き状況をご確認ください。空き状況確認後、「能力開発セミナー受講申込書」に必要事項を記入の上、FAXまたは郵送、持参によりお申込みください。

Q 「能力開発セミナー受講申込書」に
なぜ生年月日を記入する必要があるのですか？

A 所定の要件を満たした方に訓練の修了書を交付するため、必要とされます。

Q 申し込んだコースをキャンセルしたいのですが
どのようにしたらよいのですか？

A コース開始日の7日前までにご連絡ください。この手続きをしないで欠席された場合、受講料を全額ご負担いただくこととなります。

Q 希望するコースが定員に達している場合は
どのようにしたらよいのですか？

A 「キャンセル待ち」としてお申し込みを受け付けることが可能です。キャンセルにより定員に空きが生じた時点で順次ご案内いたします。キャンセル待ちが多い場合は別途コースを設けることもあります。

Q 申し込んだコースを欠席する場合は
どのようにしたらよいのですか？

A お電話にてご連絡ください。

Q 各コースの会場(教室)へは
どのように行けばよいのですか？

A 事前に送付する受講票に会場を記載しています。また、コース開始日に本館玄関ホールのご案内板にて会場を確認され、直接会場へお越しください。

Q 駐車場は利用できますか？

A 駐車場を整備しております。駐車場内での事故等につきましては、当校では責任を負いかねますのでご了承ください。

Q 受講料の納入は
どのようにしたらよいですか？

A セミナー開講日の10日前を目途に受講料の「請求書」、「受講票」を送付いたしますので、セミナー開講の7日前までに指定の銀行口座にお振込みください。なお、現金でのお取り扱いはありませんのであらかじめご了承ください。振込手数料はお客様のご負担となります。

Q 申し込んだコースが中止または
変更になることはありますか？

A 受講申し込みが一定の人数に達していない場合や講師の都合等、やむを得ない事情により中止または日程変更させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、中止コースの受講料を既にお支払い済みの方は返金させていただきます。

Q 受講する際の服装・持ち物は
どのようにしたらよいのですか？

A パンフレット等の「持参品」欄や「備考」欄に記載がない場合は、服装に特に決まりはございません。ただし、旋盤、フライス盤、溶接関係のセミナーなど「持参品」欄や「備考」欄に作業服等の指定がある場合は、ご確認のうえご持参願います。

Q 食堂や自動販売機はありますか？

A 食堂はございますが、売り切れになる場合もあります。土日祝日は、近隣にスーパーがあります。昼食をご持参いただくことも可能です。また、飲み物の自動販売機はございますが、タバコの自動販売機はございません。なお、食堂は土・日・祝祭日・学生の休暇時などご利用できません。

Q 宿泊施設はありますか？

A 当大学には宿泊施設はございません。ご宿泊の必要がある方は、お手数ですが、近隣の宿泊施設を各自でご予約ください。

Q セミナー修了証書の
交付条件はありますか？

A 修了証書は出席時間が12時間以上かつ訓練時間の80%以上となる場合に交付いたします。なお、修了証書の再発行はできませんのでご了承ください。

※ 受講申込書は、コピーしてお使いください。

新潟職業能力開発短期大学校 学務援助課 宛 FAX番号【0254-23-2169】

2024年度 能力開発セミナー受講申込書

加入団体名			申込日	年 月 日		
会社名			業 種			
所在地	〒	TEL ()		—		
		FAX ()		—		
企業規模	29人以下	30~99人	100~299人	300~499人	500~999人	1000人以上
教育担当者	所属部課 氏 名	TEL ()		—		
		FAX ()		—		
受講区分	1. 会社からの指示による受講 2. 個人での自己受講 (該当する項目に○印をご記入下さい) *受講区分が「1」の場合、受講者が所属する会社の代表者の方 (事業主、営業所長、工場長等) にアンケートへのご協力をお願いしております。					
コース番号	コ ー ス 名	受講者氏名 (生年月日)		連絡先 (〒/住所/TEL)		受講票送付先
		(カナ) () 氏名	男・女	〒		
		西 暦	・	TEL ()	—	
就業状況 (該当に○印)		1. 正社員 2. 非正規社員 3. その他 (自営業等)		※就業状況の非正規社員とは一般的にパート、アルバイト、契約社員等が該当しますが、様々な呼称があるため、貴社の判断で差し支えありません。		
		(カナ) () 氏名	男・女	〒		
		西 暦	・	TEL ()	—	
就業状況 (該当に○印)		1. 正社員 2. 非正規社員 3. その他 (自営業等)		※就業状況の非正規社員とは一般的にパート、アルバイト、契約社員等が該当しますが、様々な呼称があるため、貴社の判断で差し支えありません。		
		(カナ) () 氏名	男・女	〒		
		西 暦	・	TEL ()	—	
就業状況 (該当に○印)		1. 正社員 2. 非正規社員 3. その他 (自営業等)		※就業状況の非正規社員とは一般的にパート、アルバイト、契約社員等が該当しますが、様々な呼称があるため、貴社の判断で差し支えありません。		
		(カナ) () 氏名	男・女	〒		
		西 暦	・	TEL ()	—	
就業状況 (該当に○印)		1. 正社員 2. 非正規社員 3. その他 (自営業等)		※就業状況の非正規社員とは一般的にパート、アルバイト、契約社員等が該当しますが、様々な呼称があるため、貴社の判断で差し支えありません。		
		(カナ) () 氏名	男・女	〒		
		西 暦	・	TEL ()	—	
就業状況 (該当に○印)		1. 正社員 2. 非正規社員 3. その他 (自営業等)		※就業状況の非正規社員とは一般的にパート、アルバイト、契約社員等が該当しますが、様々な呼称があるため、貴社の判断で差し支えありません。		

訓練に関連する経験・技能等 (※1)

※1 訓練を進める上での参考とさせていただきますため、今回受講するコース内容に関連した職務経験、資格、教育訓練受講歴等をお持ちの方は、差し支えない範囲で記入ください。(例: 切削加工の作業に約5年間従事)

※ 受付は先着順とさせていただきますが、原則として事業主団体・企業からの申込みを優先し、受講決定いたしますので、ご了承ください。

お申し込み方法とキャンセル

事前にお電話で、ご希望のコースの空き状況を確認してから1ヶ月前までにお申し込みください。(0254-22-1781)

お申し込みは「受講申込書」をFAX・郵送・持参によりお受けします。【電話での受付はしておりません】

お申し込み後の「キャンセル」は、開講日7日前までに学務援助課へご連絡ください。

【開講日前6日以内のキャンセルは、受講料の返還はできませんので、ご了承ください】

セミナー開講と受講料のお振込み

・実施の場合は、開講日の10日前をめどに「受講決定通知書」「受講票」及び受講料払い込み口座等を記載した「請求書」を送付します。

・受講料払込みは、原則としてセミナー開始7日前までに銀行の指定口座へお願いします。

【払い込みがない場合は受講できなくなることがありますので、ご注意ください】

コースの中止と変更

・当校の都合により中止または日程の変更をすることがありますのでご了承ください。この場合は、セミナー開始日までに電話にてご連絡いたします。

当機構の保有個人情報保護方針、利用目的

●独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構は「個人情報の保護に関する法律」(平成15年法律第57号)を遵守し、保有個人情報を適切に管理し、個人の権利利益を保護いたします。

●ご記入いただいた個人情報については能力開発セミナーの受講に関する事務処理(連絡、修了証書の交付、修了台帳の整備)及び業務統計、当機構の能力開発セミナーや関連するセミナー・イベント等の案内に使用するものであり、それ以外に使用することはありません。受講区分欄の1を選択された方は、申込担当者様あてに送付いたします。

●今後、当機構の能力開発セミナーや関連するセミナー・イベント等の案内を希望しますか。 希望する 希望しない

お問い合わせ先

新潟職業能力開発短期大学校
(ポリテクカレッジ新潟)

【学務援助課】

〒957-0017 新潟県新発田市新富町1丁目7番21号
TEL 0254-22-1781 FAX 0254-23-2169
<https://www3.jeed.go.jp/niigata/college/>

交通アクセス

- ◆ JR
白新線・羽越本線 新発田駅下車
新発田駅西口より徒歩約20分
- ◆ 車（一般道路）
国道7号線・新新バイパス・聖籠新発田ICより約12分
- ◆ 車（高速道路）
日本海東北自動車道・聖籠新発田ICより約12分



ハートレーニング
——急がば学べ——

公的職業訓練の愛称・
キャッチフレーズです。